(c) Quantities not falling in Category III and natural uranium, depleted uranium and thorium should be protected at least in accordance with prudent management practice.

(d) Although this level of protection is recommended, it would be open to the Parties, upon evaluation of the specific circumstances, to assign a different category of physical protection.

(e) Other fuel which by virtue of its original fissile material content is classified as Category I or II before irradiation may be reduced one category level while the radiation level from the fuel exceeds 1 Gy/hr (100 rads/hr) at one meter unshielded.

PROTOCOL

At the time of signing the Agreement between the Government of Japan and the Government of the Republic of Korea for Cooperation in the Peaceful Uses of Nuclear Energy (hereinafter referred to as "the Agreement"), the undersigned have agreed upon the following provisions which shall form an integral part of the Agreement:

The provisions of the Agreement shall also apply to (i) equipment transferred between Japan and the Republic of Korea, as authorized by the supplying Party, after the signature of the Agreement and prior to the date of entry into force thereof and (ii) nuclear material derived by one or more processes from the use of the said equipment.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being duly authorized thereto by their respective Governments, have signed this protocol.

DONE at Tokyo on the twentieth day of December, 2010 in duplicate in the English language.

For the Government of Japan:
前原誠司

For the Government of the Republic of Korea:
権哲賢

原子力の開発及び平和的利用における協力のための日本国政府とベトナム社会主義共和国政府との間の協定をここに公布する。

御名御璽

平成二十三年十二月二十八日

内閣総理大臣臨時代理
国務大臣　藤村　修

条約第二十号

原子力の開発及び平和的利用における協力のための日本国政府とベトナム社会主義共和国政府との間の協定

日本国政府及びベトナム社会主義共和国政府（以下「両締約国政府」という。）は、

日本国及びベトナム社会主義共和国の双方が千九百六十八年七月一日に作成された核兵器の不拡散に関する条約の当事国であることを考慮し、

日本国及びベトナム社会主義共和国の双方が国際原子力機関（以下「機関」という。）の加盟国であることを認識し、

核不拡散、原子力の安全及び核セキュリティが確保される方法で原子力の平和的利用を追求するという両締約国政府の誓約を再確認し、

それぞれの国の国内法及び両国について効力を生じている関係する国際協定に従い、原子力の平和的利用の分野において両国間の協力を促進することを希望して、

次のとおり協定した。

第一条

この協定の適用上、

(a) 「認められた者」とは、一方の締約国政府の国の管轄内にある個人又は団体であって、当該一方の締約国政府により、この協定の下での協力（核物質、資材、設備及び技術を供給し、又は受領すること並びに役務を提供し、又は受領することを含む。）を行うことを認められたものをいう。ただし、両締約国政府を含まない。

(b) 「核物質」とは、次に規定する原料物質又は特殊核分裂性物質をいう。

(i) 原料物質とは、次の物質をいう。

ウランの同位元素の天然の混合率から成るウラン

同位元素ウラン二三五の劣化ウラン

トリウム

金属、合金、化合物又は高含有物の形状において前記のいずれかの物質を含有する物質

他の物質であって両締約国政府により合意される含有率において前記の物質の一又は二以上を含有するもの

両締約国政府により合意されるその他の物質

(ii) 特殊核分裂性物質とは、次の物質をいう。

プルトニウム

ウラン二三三

同位元素ウラン二三三又は二三五の濃縮ウラン

前記の物質の一又は二以上を含有する物質

両締約国政府により合意されるその他の物質

特殊核分裂性物質には、原料物質を含まない。